

## 9月留学レポート

9月1日から学校が始まるのですが、エストニアでは新学期の初日に担任になった先生に花束を渡す文化があるそうです。私も花束を渡しました。学校は午前中で終わりました。授業が始まるのは明日からだそうで、緊張します。こちらでは、ワークブックなどの書き込みが必要なものはひとりひとつ配られますが、学生一人ひとりに教科書が配られることはなく、図書館で教科書を借りるそうです。借り物なので、書き込みはできませんし、ブックカバーをつけて大切に使うそうです。授業はエストニア語なのでついて行くのは大変ですが頑張ります。授業の始まりと終わりの鐘や予鈴は実際にある音楽だそうで、それに合わせて生徒が踊ることもあって面白いです。どのタイミングにどの音楽がなるかも決まっているのでなんの鐘かもわかりやすいです。

週末は、ホストグランドペアレンツのうちに泊まりに行きました。とても歓迎してくれました。ホストマザーの弟の彼女の誕生日だそうで、みんなで集まってパーティーをしました！彼女の誕生日にこんなに家族全員が集まる様子に、こちらの人々の温かさを感じました。犬と遊んだり、サウナに入ったりしました。ホストマザーたちと森に入ってリンゴンベリーやブルーベリー、きのこを摘みました。

ビザ申請に行きました。多くの人で混雑しており、顔写真の撮影や指紋の採取などで時間がかかりましたが無事申請することができました！ビザを申請し終えたら、ホストファザーが仕事だったので、そのままホストファザーの仕事場に連れて行ってもらいました。とても広い職場で、いろいろな人が働いていました。エストニア語で会話をしている人もいれば英語で会話をしている人もいました。今は閉鎖されているそうですが、屋上にはラウンジやサウナがあるそうです。ホストペアレンツはどちらも職場がタリンなので、その後少しタリンを観光しましたが、何度見てもタリンの旧市街は美しく、いつも見入ってしまいます。

同年代の子と接したり、こちらで生活していると、日常生活の中に多文化が溶け込んでいると感じます。テレビでも日常的に英語の番組や映画が流れています。まだ8歳のホストブラザーも英語でテレビを見ているときもあり、私と同じくらい英語を話すことができると感じます。そして、ショッピングモールなどに行くとフードコートにはいろいろな国の料理の店があり、餅やおにぎりも見かけます。寿司が一番好きな食べ物だという人もいて、嬉しく感じます。また、お店の看板に日本語を使っているところもよく見かけます。

ホストブラザーの友達家族と一緒にハイキングに行きました。Liiapeksiというところで、とてもきれいな景色を見ることができました。途中で雨が降り始めてしまい、道が消えかかって一歩間違えたら濡れてしまうところもありましたが、それも楽しかったです。その後、海に行きました。ちょうど夕焼けの時間帯で、とても綺麗でした。

ホストファザーの誕生日でした。ホストファザーの双子の兄弟家族と一緒にボウリングに行きました。久しぶりだったのでとても楽しかったです。その後、みんなでバーガーを食べ、ホスト叔父家族とは別れて、近くのショッピングモールでやっていた日本のイベントに行きました。アニメや茶道、書道や着物、和菓子やグミなど、いろいろなものが並んでいました。音楽はJ-Popが流れていました。日本のことが好きなエストニアの方だけでなくエストニアに住んでいる日本人の方もたくさんいて、少し日本語で話すことができました。みんなでおにぎりを一つずつとどら焼き、おせんべいを買いました。おにぎりはその日のうちに食べたのですが、気に入ってくれたようです。

ホストファミリーと話しているうちにおにぎりの話になり、おにぎりを作ることになりました。こちらには炊飯器がないのでお米を炊くのが大変でしたが、なんとか炊くことができました。お米の質も

違っていて難しかったです。ホストマザーがてりやきのタレを買ってきてくれたので、鶏肉を小さく切って具にしました。もっと難しいと思っていたけど意外と簡単だったと喜んでくれました。三角の形を作るのに苦戦していましたが、楽しんでくれたようで良かったです。

ホストブラザーの誕生日でした。家にはホストマザー一家が来て、パーティーをしました。次の日には、ホストブラザーの友達とのパーティーが開かれました。小さい子たちの誕生日パーティーは、キッズパークなどに招待して開かれることが一般的だそうです。沢山の友達が来るので、コストコで売っているような大きなケーキやたくさんの料理、チップスが机に並びました。

冬への備えとして、スキーをするときに使うようなとでもあたたかそうなコートを買いました。こちらの冬を乗り越えるためには欠かせないものだそうです。











